

## 新潟における季節予報の階級基準について\*

野 呂 恒 夫\*\*

季節予報や週間予報に使はれる用語には一定の基準があるが、この基準は昭和35年3月の気象官署予報業務細則の一部改正(気象庁日報, 昭和35年3月23日, 第648号)により4月1日から、平年値からの違いの範囲を変更し7階級から5階級に、又用語も正しいものに変更された。

参考のために新旧の用語基準は第1表の通りであり、

2・3表の如くであり、両表を比較してみると相異がはっきりわかる。

今第3表でも明らかのように、各階級の出現ひん度は平年並みを中心とした正規分布型であるのに反し、第2表をみるに改正された5階級では出現ひん度がだいたいそろっている。即ち等出現ひん度を示していることが注目されると思う。

第1表 旧季節予報用語基準

用 語	区 分 比 率	気 温		降 水 量		日 照	
		月平均の平年差の標準偏差に対する百分比の範囲		月合計の平年比(%)の範囲		月合計の平年比(%)の範囲	
甚だ低い又は甚だ少い		-200未満		00 ~ 30未満		0 ~ 50未満	
かなり低い又はかなり少い		-200以上	-130未満	30以上	50未満	50以上	70未満
やや低い又はやや少い		-130以上	-60未満	50以上	80未満	70以上	90未満
平 年 並		-60以上	+60未満	80以上	120未満	90以上	110未満
やや高い又はやや多い		+60以上	+130未満	120以上	150未満	110以上	130未満
かなり高い又はかなり多い		+130以上	+200未満	150以上	200未満	130以上	150未満
甚だ高い又は甚だ多い		+200以上		200以上		150以上	

新季節予報用語基準

用 語	区 分 比 率	気 温		降 水 量		日 照	
		月平均の平年差の標準偏差に対する百分比の範囲		月合計の平年比(%)の範囲		月合計の平年比(%)の範囲	
かなり低いまたはかなり少ない		-85未満		60未満		85未満	
やや低いまたはやや少ない		-85以上	-26未満	60以上	80未満	85以上	95未満
平 年 並 み		-26以上	26未満	80以上	110未満	95以上	105未満
やや高いまたはやや多い		26以上	85未満	110以上	140未満	105以上	115未満
かなり高いまたはかなり多い		85以上		115以上		115以上	

新潟における1926~1955年の30年について、新旧の月別に気温、降水量、日照の用語範囲表を求めた結果は第

改正前は平年並みとしておくと、相当高い確率で予想されたのであるが、今度の改正により今後は必ずしもそうはいかないので用語使用には十分に注意することが肝要でなかろうか。尚表中の平年値は1926~1955の30ヶ年の値であり、( )の中の数字はその範囲の出現ひん度を示してある。

\* On the Classification Standard of the Seasonal Forecasting for Niigata Prefecture.

\*\* Tsuneo, Noro: 新潟地方気象台  
—1962年11月10日受理—

第2表 新季節予報用語範囲表(月別, 新潟)

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
用語													
気	かなり低い	0.6未満 (5)	0.4 (5)	3.6 (7)	9.3 (6)	14.3 (4)	19.0 (5)	23.1 (5)	25.3 (8)	20.8 (4)	15.0 (4)	9.2 (5)	3.6 (6)
	やや低い	1.3未満 (5)	1.2 (8)	4.2 (5)	9.8 (3)	14.8 (8)	19.6 (5)	24.0 (7)	25.9 (2)	21.4 (9)	15.4 (6)	9.7 (4)	4.3 (7)
	平年並み	1.9未満 (10)	2.0 (6)	4.8 (4)	10.2 (8)	15.4 (6)	20.0 (7)	24.8 (5)	26.3 (5)	21.8 (7)	15.8 (7)	10.1 (5)	4.9 (4)
温 (°C)	やや高い	2.6未満 (6)	2.8 (4)	5.4 (7)	10.7 (7)	15.9 (5)	20.6 (7)	25.7 (7)	26.9 (7)	22.4 (4)	16.2 (9)	10.6 (10)	5.6 (8)
	かなり高い	2.6以上 (4)	2.8 (7)	5.4 (7)	10.7 (6)	15.9 (7)	20.6 (6)	25.7 (6)	26.9 (8)	22.4 (5)	16.2 (4)	10.6 (6)	5.6 (5)
	平年値	1.6	1.6	4.5	10.0	15.1	19.8	24.4	26.1	21.6	15.6	9.9	4.6
降 水 量 (mm)	かなり少ない	114未満 (2)	74 (1)	67 (0)	66 (0)	53 (3)	65 (6)	102 (7)	62 (9)	96 (3)	100 (4)	107 (1)	141 (1)
	やや少ない	151未満 (7)	98 (8)	90 (10)	88 (7)	70 (6)	87 (8)	136 (4)	83 (4)	129 (5)	134 (8)	142 (10)	189 (9)
	平年並み	208未満 (10)	135 (10)	124 (11)	121 (12)	97 (11)	119 (6)	187 (6)	114 (8)	177 (12)	184 (6)	196 (7)	259 (10)
	やや多い	265未満 (8)	171 (9)	157 (6)	154 (10)	123 (7)	151 (4)	238 (5)	145 (3)	225 (6)	234 (5)	249 (10)	330 (6)
	かなり多い	265以上 (3)	171 (2)	157 (3)	154 (1)	123 (3)	151 (6)	238 (8)	146 (6)	225 (4)	234 (7)	249 (2)	330 (4)
	平年値	189	122	112	110	88	108	170	104	161	167	178	236
日 照 (h)	かなり少ない	57未満 (10)	70 (6)	123 (5)	170 (1)	197 (3)	187 (7)	183 (9)	221 (7)	145 (6)	127 (6)	91 (6)	53 (7)
	やや少ない	64未満 (2)	78 (7)	137 (7)	190 (11)	214 (9)	209 (5)	204 (5)	246 (3)	162 (7)	142 (6)	102 (6)	59 (8)
	平年並み	70未満 (6)	87 (5)	151 (4)	210 (9)	237 (8)	230 (3)	226 (4)	272 (7)	179 (6)	156 (7)	113 (6)	65 (6)
	やや多い	77未満 (5)	95 (5)	166 (8)	230 (7)	260 (5)	252 (9)	247 (3)	298 (7)	196 (5)	172 (4)	123 (6)	71 (2)
	かなり多い	77以上 (7)	95 (7)	166 (6)	230 (2)	260 (5)	252 (6)	247 (9)	298 (6)	196 (6)	172 (7)	123 (6)	71 (7)
	平年値	67	82	144	200	225	219	215	259	170	149	107	62

第3表 旧季節予報用語範囲表(月別, 新潟)

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
用語													
気	甚だ低い	-0.9未満 (1)	-1.3 (0)	2.4 (0)	8.3 (0)	13.2 (1)	18.0 (1)	21.4 (2)	24.2 (1)	19.7 (0)	14.3 (1)	8.3 (1)	2.3 (1)
	かなり低い	0.0未満 (2)	0.2 (2)	3.1 (2)	8.9 (3)	13.8 (1)	18.7 (1)	22.5 (1)	24.9 (2)	20.4 (4)	14.7 (3)	8.9 (3)	3.1 (1)
	やや低い	0.9未満 (4)	0.8 (7)	3.9 (7)	9.5 (5)	14.5 (6)	19.3 (6)	23.5 (3)	25.5 (5)	21.0 (2)	15.2 (1)	9.4 (4)	3.9 (4)
温 (°C)	平年並み	2.3未満 (15)	2.4 (12)	5.1 (10)	10.5 (13)	15.7 (13)	20.3 (15)	25.3 (14)	26.7 (12)	22.2 (18)	16.0 (14)	10.4 (11)	5.3 (15)
	やや高い	3.2未満 (6)	3.4 (6)	5.9 (7)	11.1 (6)	16.4 (6)	20.9 (2)	26.3 (7)	27.3 (9)	22.8 (1)	16.5 (10)	10.9 (9)	6.1 (5)
	かなり高い	4.2未満 (0)	4.3 (2)	6.6 (4)	11.7 (2)	17.0 (2)	21.6 (4)	27.4 (3)	28.0 (1)	23.5 (4)	16.9 (1)	11.5 (1)	6.9 (2)
平年値	4.2以上 (2)	4.3 (1)	6.6 (0)	11.7 (1)	17.0 (1)	21.6 (1)	27.4 (0)	28.0 (0)	23.5 (1)	16.9 (0)	11.5 (1)	6.9 (2)	
	平年値	1.6	1.6	4.5	10.0	15.1	19.8	24.4	26.1	21.6	15.6	9.9	4.6

降水 量 (mm)	甚だ少い	57未満 (0)	37 (0)	34 (0)	33 (0)	24 (0)	33 (2)	51 (5)	31 (2)	48 (1)	50 (0)	53 (0)	71 (0)
	かなり少い	95未満 (1)	61 (1)	56 (0)	55 (0)	44 (3)	54 (2)	85 (1)	52 (7)	80 (1)	84 (0)	89 (1)	118 (0)
	やや少い	151未満 (8)	98 (8)	90 (10)	88 (7)	70 (6)	87 (10)	136 (5)	83 (4)	129 (6)	134 (12)	142 (10)	189 (10)
	平年並み	227未満 (11)	147 (13)	135 (14)	132 (18)	106 (12)	130 (8)	204 (9)	125 (9)	193 (13)	201 (10)	213 (10)	283 (13)
	やや多い	284未満 (10)	184 (7)	169 (5)	165 (5)	117 (7)	162 (4)	255 (3)	156 (3)	241 (7)	251 (4)	267 (7)	354 (6)
	かなり多い	378未満 (0)	245 (1)	225 (1)	219 (0)	156 (2)	216 (2)	340 (6)	207 (2)	321 (2)	334 (4)	356 (2)	472 (1)
	甚だ多い	378以上 (0)	245 (0)	225 (0)	219 (0)	156 (0)	216 (2)	340 (1)	207 (3)	321 (0)	334 (0)	356 (0)	472 (0)
	平年値	189	122	112	110	88	108	170	104	161	167	178	236
日 照 (h)	甚だ少い	34未満 (0)	41 (0)	72 (1)	100 (0)	103 (0)	110 (0)	108 (0)	130 (0)	85 (0)	57 (0)	54 (0)	31 (1)
	かなり少い	47未満 (3)	58 (3)	101 (1)	140 (0)	158 (0)	154 (2)	150 (2)	182 (1)	119 (1)	104 (1)	75 (2)	43 (3)
	やや少い	60未満 (8)	74 (8)	130 (4)	180 (5)	203 (6)	198 (7)	194 (10)	234 (7)	154 (6)	134 (8)	97 (7)	56 (8)
	平年並み	74未満 (10)	91 (10)	158 (16)	220 (20)	248 (17)	241 (10)	236 (7)	285 (10)	187 (14)	164 (12)	118 (11)	68 (9)
	やや多い	87未満 (6)	107 (8)	187 (7)	260 (5)	293 (7)	285 (10)	279 (8)	337 (12)	222 (8)	194 (7)	139 (9)	80 (3)
	かなり多い	100未満 (2)	124 (1)	216 (1)	300 (0)	339 (0)	329 (1)	322 (3)	389 (0)	256 (1)	224 (2)	161 (0)	92 (5)
	甚だ多い	100以上 (1)	124 (0)	216 (0)	300 (0)	339 (0)	329 (0)	322 (0)	389 (0)	255 (0)	224 (0)	161 (1)	92 (1)
	平年値	67	82	144	200	225	219	215	259	170	149	107	62

注 ( ) 内の数字はひん度を示す。

東京管区気象台・日本気象学会昭和38年度関東・中部地区気象研究会

日 時：昭和38年10月23日13時～24日14時

(8) 台風の降雨帯にともなう起る気象変化

会 場：神奈川県藤沢市片瀬 向洋荘

静岡 安田 浩 (20分)

1. 開会の辞

(9) 梅雨前線豪雨時の降雨帯の三次元メソ解析

2. あいさつ 管区台長, 学会理事

名古屋 立平 良三 (30分)

3. 研究発表

(10) 積乱雲の発達と臨界面近くの擾乱

(1) 前橋の天気の代表性について

東航 中山 章 (30分)

前橋 野島 弘・山本 昇 (15分)

(11) 三浦ダム集水域の流出について

松本 井村宇一郎 (30分)

(2) 中部日本の熱的高低気圧に伴う風の日変化について

管区 清水 重喜 (20分)

(12) 北陸における雪の長期予報 (その1)

新潟 佐藤 正夫 (25分)

(3) 中部地方のフェーン現象の解析 (昭38.4.17日)

長野 宇田川和夫 (20分)

(13) 北陸沿岸の高波

新潟 浅井 俊夫 (30分)

(4) 横浜における昭和37年12月のスモッグについて

横浜 箕輪 年雄 (20分)

(14) 高潮予想の一方

名古屋 桜木 敏二 (20分)

(5) 富士, 甲府資料による不安定性雨量の予想

甲府 関 清宣 (20分)

特別講演

気象衛星について 気象庁 鈴木 弥幸 (40分)

(6) 判別解析による福井県の大雷雨予想について

気研 鈴木栄一, 名古屋 前田伊三男 (15分)

オーストラリアにおける微気象研究

気象大 岡本 雅典 (30分)

(7) 降雪量の予報 金沢 宮村 親美 (20分)